

授業記録タイトル：ゾウムシが教えてくれる生物多様性

教科：道徳

対象学年：小学校4年生

執筆者：内山義郎

準備する教材：-

参考文献：-

ねらい：

地球上には様々な生きものがいて、種類も多様であることを知ってもらおう。そして、絶滅した生きものの存在を知ることにより、“生物多様性”が失われていくと生物が減っていく可能性が高くなる事実を学んでもらう。その過程で、子どもたちのよく見、よく聞き、学び合う力を伸ばしていく。

Step 1 =====

1人の子に問う。

発問 あなたは何ですか？

人間ですとの答えが返ってくる。

補助発問 人間ではない人？

だれも手を挙げない。

※ここまで道徳教育改革集団代表の深澤久氏の追実践。

『とっておきの道徳授業Ⅰ』に示された深澤実践では、この後、「間違いなく人間だという人？」と問い、全員が挙手。

私の場合は、次のようにした。

補助発問 人間かもしれない人？

数人が挙手。笑いが起きる。

様々な答えが出た。

たぶん人間

人間だと思う

間違いなく人間

全員が挙手。

Step 2 =====

発問 あなたは、誰ですか？

〇〇です。のように名前を答える。

そして、数人に問う。

補助発問 この中のみんなと、どこが違いますか？

顔、性格、体の大きさ、肌の色、髪の長さ、名前などが出される。

補助発問 クラスの中に同じ人がいる人？

Step 3 =====

発問 「あなたは、この中のみんなと、どこが違いますか。」

顔、性格、体の大きさ、肌の色、髪の長さ、名前などが出される。

補助発問 世の中に全く同じ人がいる人？

当然ながら、だれも挙手しない。

[一人一人が違う] と板書する。

補助発問 このように一人一人が違うのは、人間にとって良いことでしょうか、良くないことでしょうか？

ノートに、“良い” “良くない” 及びその理由を書く作業の後、話し合う。

全員が**良い**に挙手。おもな理由は次の通り。

同じなら面白くない

区別がつかないし、気持ち悪い

違うからこそ学び合える

それぞれ得意不得意があるからこそ助け合える

Step 4 =====

発問 地球上には、人間のほかに、どんな生き物がいますか。大きく二つに分けて書きなさい。

発言させた後、〔動物と植物〕と板書する。

補助発問 動物の名前を一つでも知っている人は起立しましょう。

どどっと起立する。子どもたちは、1つずつ発言したら腰掛けるよう指示する。

ゾウ **ライオン** **ヘビ**

など多数の答えが出される。

補助発問 植物の名前を一つでも知っている人は起立しましょう。

どどっと起立する。子どもたちは、1つずつ発言したら腰掛けるよう指示する。

アサガオ **ヒマワリ** **タンポポ**

など多数の答えが出される。

Step 5 =====

発問 昆虫は、動物ですか、植物ですか？

挙手で子どもの認識を確認した後、答えは“動物”であることを教える。

課題 知っている昆虫の名前をできるだけたくさん書きましょう。

2分間程ノートに書く作業をした後、発言させる。

カブトムシ **クワガタ**

などが出される。

補助発問 クワガタ、好きな人？

この問いかけに多数が挙手。

Step 6 =====

課題 クワガタ虫の絵を描いてみましょう。

描きたい子8人に黒板に描かせる。制限時間2分。

いろいろなクワガタが板書された。迫力のある絵もあった。

捕縄発問 クワガタにも、いくつかの種類があります。名前を一つでも知っている人、いますか？

挙手した子に発言させる。

オオクワガタ **コクワガタ** **ノコギリクワガタ** **ミヤマクワガタ** **ヒラタクワガタ**

など多数が出される。

「このように同じクワガタでも様々な種類があります。」

補助発問 様々な種類のクワガタがいる。この事実は人間にとって良いことでしょうか、良くないことでしょうか？

ノートに、“良い” “良くない” 及びその理由を書く作業の後、話し合う。

“良い” に挙手したのが38人。“良くない” に挙手したのが1人。

おもな理由は次の通り。

・いろいろな種類を見たい・飼いたい

・いろいろいても、人間にとって害はない

・いろいろな種類があるから学べる

“良くない” に挙手した子の理由は**名前を覚えるのがたいへん**だった。

「覚えないと困るわけではないよ。」と確認して次へ。

Step 7 =====

解説 地球上で最も種類の多い生き物は、何という昆虫でしょうか？

色々と予想が出されるが、正解は出ない。正解“ゾウムシ”を伝える。

補助発問 何種類くらい、あると思いますか？

予想を発言させた後、「6万種以上です」と正解を告げる。

Step 8 =====



例えば、ゾウムシには、こんな仲間がいます。

ここで、『いきものがたり』P. 14の“3 ゾウムシ・ワールド”を見せる。

発問 様々な種類のゾウムシがいる。この事実は人間にとって良いことでしょうか、良くないことでしょうか

ノートに、“良い”、“良くない”及びその理由を書く作業の後、話し合う。

“良い”に挙手した子が26人。“良くない”に挙手した子が13人。

“良い”のおもな理由は次の通り。

- ・種類がたくさんあった方が楽しい
- ・ゾウムシが好きな人にとって学べるし、面白い
- ・種類がたくさんいるからこそ、多くの研究ができる

“良くない”のおもな理由は次の通り。

気持ち悪い

「ゾウムシが好きな人にとっては、このように見えるそうです。」

ここで、『いきものがたり』”ゾウムシ・ワールド” P. 14 と P. 15 の間のページを開いて見せる。**オ**
オーツの歓声此起彼伏。食い入るように見る子も大勢。一方では、**気持ち悪い**と声を上げる子も大勢いた。

「このように同じゾウムシの仲間でも様々な種類があります。地球上には、実に様々な生き物がいます。」
「ゾウムシやクワガタ・カブトムシなど昆虫に限らず、生き物には様々な種類があります。」
「人間も一人一人違います。これを生物多様性と言います。」

補助発問 一方では、絶滅した生き物がいます。絶滅が心配される生き物もいます。知っている生き物があれば、発表してください

知っている子に、発言させる。

・ホッキョクグマ ・ホワイトタイガー ・キョウリュウ ・ジャイアントパンダ ・シーラカンス

などが出された。

「生き物のにぎわいがなくなっていけば、やがて人間も滅びていってしまうとされています。」

Step 9 =====

最後に、今日の学習の感想を書かせて終わる。

課題 今日の学習の感想を書きましょう。

・生き物をむやみに殺してはいけない。生き物を大切にしていきたい。

・地球上にはいろんな生き物がいる。人間だけが便利な生活をするのではなく、ほかの生き物についてももっと学んでいきたい。

・楽しかった。クワガタを黒板にかけたのが嬉しかった。

・ゾウムシについて、もっと調べてみたい。ゾウムシを飼ってみたい。

授業者の感想=====

小学校4年生40人を対象に実施した授業です。予想通りクワガタについては多くの子が知っていました。クワガタを話題にすると身を乗り出してくる子がたくさんいました。そして、予想通り、昆虫名を問う場面では“ゾウムシ”を口にする子はいませんでした。“ゾウムシ”の名を聞いて、「図鑑で見たことがある」「名を聞いたことはある。」という子がいたくらいで、殆どの子が知りませんでした。ゾウムシの種類が様々であることを本書『いきものがたり』で知り、びっくりする子・本を手に取りたがる子など、様々でした。珍しいクワガタの中には4~5万円もの値段が付いているものもあるそうです。又、絶滅が危惧されているクワガタをこっそり採取する人々もいるそうです。そのような話題と絡めた授業づくりもやってみたいと考えています。

=====